

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字NEWS

in TOKUSHIMA ニュース in 徳島

日本赤十字社徳島県支部
徳島市庄町三丁目12番地1
TEL.088-631-6000
FAX.088-631-6100
<https://www.jrc.or.jp/chapter/tokushima/>

Vol.44
2021.12



●地域に配備した段ボールベッドの設営訓練を行う地域赤十字奉仕団



●令和3年8月九州豪雨(佐賀県)

熱海市で発生した土石流、阿蘇山の噴火、関東で震度5強を観測した地震、徳島県では9月に線状降水帯による集中豪雨で70棟を超える家屋が浸水するなど、災害は私たちのより身近なものになっています。

いつ、どこで起こるかわからない災害。ハード、ソフトの両面からいのちを守る備えが必要です。

日本赤十字社徳島県支部

は、避難所で特に支援が必要な要配慮者や乳児に特化した段ボールベッドの県内配備を、ハード面から進めています。東日本大震災で犠牲になつた方の約2割を占める災害関連死、そのような方を1人でも減らすため、

現在、県内の各市町村(地区・分区)に合わせて210セットずつの配備を進めるとともに、赤十字奉仕団員

避難所の小さな声に応えました。

区・分区)に合わせて210セットずつの配備を進めるとともに、赤十字奉仕団員

避難所の小さな声に応えました。

災害に備え、資機材を備え、心も備える 全国初のオリジナル段ボールベッドを配備

- 要配慮者用段ボールベッドの特徴
 - 座って安心! しっかり背もたれ
 - スッと立てる! ほどよい高さの持ち手
 - ちょっとがうれしい! 小物置き
 - 整理整頓! 収納スペース(下面)



[要配慮者用]

[乳児用]

一方、ソフト面では災害への意識変化を促しています。「これくらいなら大丈夫」、

想定を超える自然災害からいのちを守るために、日本赤十字社徳島県支部はこれからも災害に強い地域づくりを進めてまいります。

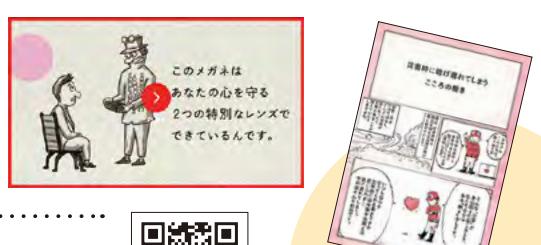
一方、ソフト面では災害への意識変化を促しています。「これくらいなら大丈夫」、

想定を超える自然災害からいのちを守るために、日本赤十字社徳島県支部はこれからも災害に強い地域づくりを進めてまいります。

避難の妨げとなる
「正常性バイアス」と「同調性バイアス」の
理解が進む動画はこれら

不安が見えなくなるメガネ

仕事でミスした僕の前に現れた、メガネ売りの男。
彼が手渡したメガネをかけると、不安が見えなくなるという。
しかし、その使い方には大事なポイントが…。



◀学べる漫画教材もこちらから

「皆と一緒にだから大丈夫」と

いった「バイアス」と呼ばれる、先入観や偏見で災害時に避難の遅れにつながる危険な心理について、動画や漫

画でわかりやすく発信して

います。

「ひのみね総合療育センター」記者レポート 障がい児者支援の現場から

医療・福祉の両面から 障がい児者を支援

子どもから大人までを対象に、医療と福祉の両面から必要な支援を総合的にを行う施設が『徳島赤十字ひのみね総合療育センター』です。

同センターは18歳未満の方が利用する「医療型障害児入所施設」と18歳以上を対象にした「療養介護」に分かれています。日常生活の支援をはじめ、自立に向けた訓練や治療、それに必要な看護や介護それぞれに必要な訓練や治療、それ自体に合わせて、きめ細かなサービスを提供しています。

障がい児者のための外来も備えており、小児科や神経小児科、整形外科、内科、精神科、歯科など診療科も豊富。今年



●「医療型障害児入所施設」では重症心身障がい児等を支援



●通所される方々にも、専門スタッフが寄り添います



●芋掘り体験を楽しむ「児童発達支援ほっぷ」の子どもたち

6月にはリハビリテーション科が新設されたほか、15歳以下の重症心身障がい児を対象とした「嚥下外来」を備えていることも特徴です。

「嚥下外来の設置は『子どもに食べる楽しみを与えたい』と悩む保護者の方々の願いが出発点でした。そうした思いに寄り添ったサービスが、赤十字施設の強みだと思います」と岩本優子看護部長は話します。

学校と建物が直接つながっているため、学校との連携もスマートに行われます。

18歳以上の方が通所する『生活介護かがやき』では、看護師や理学療法士、介護福祉士などが機能訓練や療育などを支援。



●ひのみね総合療育センター診療棟入口

新しい時代と向き合い 進化し続けるために

入院だけでなく、家から通いながら利用できることも同センターの特徴です。18歳未満の児童を対象にした『児童発達支援ほっぷ』では未就学児や就学中の児童を対象に、通所による療育を実施。ひのみね支援

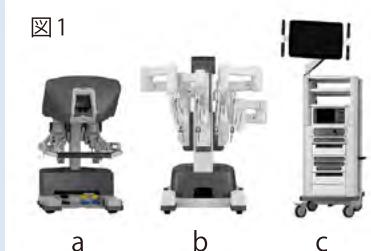
さらに、短期入所や日中一時支援にも対応するなど、様々な理由で子どもを預けなければならなくなつた保護者や家族の方を手厚くサポートしています。

「医師や看護師はもちろん、保育士や介護福祉士、社会福祉士など、多職種のスタッフが一丸となり、一人ひとりに寄り添いながら治療や療育に取り組んでいます。利用者の方々の表情は、私たちスタッフの心を映す鏡。常に相手の気持ちを

考えながらケアを行うことで、本当の信頼関係を築いていきたいです」と岩本看護部長。

今年9月には「医療的ケア

図1



手術支援ロボット・ダヴィンチを導入 負担少なく、より精密な手術が可能に

徳島赤十字病院は、ダヴィンチサーボカルシステム(以下ダヴィンチ)を用いた手術を開始しました。

ダヴィンチとは、複雑な手術をより安全に行うため開発された手術支援ロボットで、3つの機器から構成されています。医師は操作席(図1a)で鮮明な3D手術画像を見ながら、患者に取り付けたロボット(図1b)のアームの先にある鉗子をコントロール。モニター(図1c)で手術室スタッフとも視野を共有しながら手術を進めます。

体内の狭く深い場所でも回転・屈曲する鉗子を手ぶれなく操作できるため、より精度の高い手術が可能となりました。傷口が小さく、出血も抑えられるので患者負担の軽減にもつながります。

現在は縦隔腫瘍、肺がん、胃がん、直腸がん、前立腺がんの手術にダヴィンチを取り入れており、今後は保険適応に準じて他の手術にも徐々に適応を拡大していく予定です。

●徳島赤十字病院ウェブサイト
「ダヴィンチ-手術支援ロボット-」



ご存じですか?里親制度

里親が育てる。
社会が支える。

様々な事情で親と離れて暮らす子どもを家庭に迎え入れ、支援を受けて養育するのが「里親制度」です。

徳島県では、27世帯(令和3年3月31日時点)の里親さんが愛情を注いで子どもたちを育てています。

里親になるために、特別な資格はありません(登録までの流れは右図参照)。

まずは、里親制度について知ることからはじめてみませんか。

詳しくは下記の二次元コードから里親ページをご覧ください。

●養育に関するご相談やお問い合わせは
徳島赤十字乳児院
TEL.0885-32-0555 (平日9:00-17:00)

●里親になるまでのステップ

相談

児童相談所
または
乳児院へ

研修・調査・審査

家庭訪問・
面接を経て、徳島県が
審議を実施

認定登録

※更新手続きあり

里親ページはこちる!





青少年赤十字加盟校(JRC)の活動をご紹介します!

現在、徳島県内の学校(小・中・高)295校、幼稚園20園が青少年赤十字(JRC)に加盟いただき、「気づき、考え、実行する」を合言葉に「こころ」を育む様々な活動を行っています。

「いつか」に備えよう! いのちを守る防災学習

日赤徳島県支部は、鳴門市大津西小学校5・6年生を対象に防災学習を行いました。

児童は日常の様々な場面で地震が発生した時に身を守る方法や、地震のメカニズムなどを学びました。

また、教室内で災害発生時に危険になる場所を考え、防災の意識を高めました。



●地震発生時に身を守る方法を学んだ児童たち

2年ぶりにトレーニング・センター開催 地域や学校で活躍するリーダーを養成!

新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター小学校の部が、2年ぶりに開催されました。

プログラムを大幅に短縮した日帰りプランでしたが、24校から38名の児童が参加。炊き出し訓練や救急法など地域でリーダーシップを発揮できる内容から、海外の貧しい子どもたちを支援できる募金活動など学校生活の中で活かすことのできる内容まで、幅広く学習。集団生活を通してリーダーとして必要な自主・自立の精神を身につけました。

参加した児童は、「違う学校の子と話し合って活動したことが楽しかったです」、「心臓マッサージや募金など、私にも手助けできることがあることを知りました。学校でも教えてあげたいです」と笑顔で話していました。



●青少年赤十字について学ぶ



●ペットボトルを押して心肺蘇生の訓練を行う児童たち

さまざまな形で赤十字活動を支援! ~皆様の温かな思いを紹介します~

株式会社パパベル様による 有料レジ袋売り上げ金のご寄付

株式会社パパベル様から、有料レジ袋の売り上げを日赤徳島県支部にご寄付いただきました。

このご寄付は、「お客様とスタッフが共に幸せになること」を大切にされている同社が、レジ袋の有料化をご理解・ご協力いただいているお客様のお気持ちを、社会貢献に活用したいという想いによるものです。

パパベル様を通じて寄せられた皆さまの想いを、日本赤十字社の「いのちと健康、尊厳」を守る活動に活用させていただきます。



●店舗外観

公益社団法人池田法人会様による 新たなチャリティー活動

公益社団法人池田法人会主催のチャリティーゴルフ大会参加者49名からご寄付をいただきました。

赤十字活動支援を目的とした大会は今回が初めてで、今後5年間に亘ってご支援いただけます。

感染症流行下でも密を避けて開催できるチャリティーゴルフは、WITHコロナ時代の新たな支援のかたちであり、そのチャリティー活動に参加された方々の善意を、赤十字ならではのきめ細やかな活動に活用させていただきます。



●寄付金を手渡す池尻英昭会長(左)

年間を通した社会貢献活動 ~さとの雪食品株式会社様~

●7月 愛の血液たすけあい運動月間

献血者への記念品として、長期常温保存可能な豆腐「ずっとおいしい豆腐」3,500個を寄贈いただきました。

夏場は長期休暇や夏バテによる体力低下等で献血者が減少傾向にありますが、今年

は多くの皆様に献血いただくことができ、前年度同月を超える大きな成果を上げることができました。



●記念品を受け取る献血者(左)

●9月 防災月間

9月の防災月間における、同社公式通販サイト「おとうふ宅配便」での売り上げの一部を、「赤十字要支援者用段ボールベッド」整備のためにご寄付いただきました。

食品のローリングストックなど災害時も想定した商品開発を行う中で、災害時に特別な配慮が必要となる方が、安心して避難できる環境作りを支援したいとの想いによるものです。



人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社 スローガン



●事前予約会の様子(四国大学)

『学内献血事前予約会』実施!

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるオンライン授業への移行により、学内献血の開催ができず、例年に比べて大学生の献血者が少なくなっているなか、四国大学で学生献血ボランティアの協力のもと、学内献血の事前予約会を初めて実施しました。

献血経験がない方への説明や徳島県内の献血会場の広報等も行い、多くの学生や職員の方

が興味を示してください、9名の方に予約をいただきました。

また、学生ボランティアのみなさんも看板を持つ周知や、来ていただいた方への対応等積極的に活動してくれました。

初めての試みでしたが、今後も事業所等でも実施し、1人でも多くの方への周知、献血協力につなげていきたいと思います。

●献血バス

お住まいの地域・企業・学校などを巡回しています。

巡回場所は「徳島県赤十字血液センター」
ホームページをご覧ください。



●献血ルーム アミコのご案内

●受付時間:9:30~13:00/14:00~17:00(成分献血は16:00まで)

※アミコ専門店街の開店前及び休館時は、3Fシビックセンター広場入口か、1F郵便局横入口をご利用ください。

●定休日:毎月第1・3火曜日

※悪天候時には変更する場合がありますので、お問い合わせください。

●住所:徳島市元町1-24 アミコビル3F(JR徳島駅前)

●お問い合わせ:0120-688-950



献血中も
TV視聴



Free-WiFi
あります



充実の
フリードリンク



●1~4の駐車場をご利用ください。

※献血に要した時間分のサービス券をご用意しております。

献血ボランティアのご紹介

●三好市 高井 美穂 市長

長年、献血ボランティアに取り組まれている高井美穂三好市長に、献血を始めたきっかけ等についてインタビューさせていただきました。

「今日のためにご飯をたくさん食べて、体調を整えてきました。」そう笑顔で話すのは、三好市の高井美穂市長。10月19日、フレスボ阿波池田で献血にご協力いただきました。高井市長の献血回数は、今回で40回目となります。

初めて献血した当時を振り返り、「最初から不安や恐怖心はなかったです。たまたま献血会場を見かけ、『これなら私にもできる』と、自然に足が受付へと向かいました。」と教えてくれました。

近年、若年層献血者数が減少している現状について、「みなさん、社会のために何かしたいという意欲を強く持たれている。『献血で誰かの命を救うことができる。』このことを知るきっかけさ

えあれば、協力につながるのでは。」と語ります。これから献血を始める方に向けて、「痛いかもしれないし、怖いかもしれない。それでも勇気を出して、挑戦して欲しい。スタッフのみなさんも、親切で優しいですよ。」とメッセージをいただきました。

「献血は、元気のバロメーターにもなります。自分の健康管理ができます。人の役にも立つ。私にとって献血は、一石二鳥のボランティア活動です。」と力強く話す高井市長。献血終了後、「今日も献血ができた良かったです。」と元気に話される姿が印象的でした。



●笑顔で献血に応じる高井市長

●日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します●

日本赤十字社徳島県支部事務局

徳島市庄町三丁目12-1 TEL.088-631-6000

徳島赤十字ひのみね総合療育センター 小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903

徳島赤十字障がい者支援施設ひのみね 小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903

徳島赤十字乳児院

徳島赤十字病院

徳島県赤十字血液センター

小松島市中田町字新開2-2

小松島市小松島町字井利ノ口103番

TEL.0885-32-2555

TEL.0885-32-0555

TEL.0885-32-2555

TEL.088-631-3200